

# 市民サービス削減すすめるなか （仮称）厚生産業会館建設費大幅増は許せない

市はこのほど、平成29年度に供用開始を予定している（仮称）厚生産業会館について、基本設計では基本構想時の建設費を10億6000万円上回る見込みであることを明らかにしました。これに対して高田区地域協議会などいろんなところから疑問や批判の声が上がっています。9月議会の一般質問では高田区在住の滝沢一成議員や日本共産党議員団の平良木議員がこの問題を取りあげました。

## 日本共産党は市民アンケート実施へ

日本共産党議員団ではこのままのgori押しは許せないとして、市民アンケートに取り組みことにしました。ご協力よろしくお願ひします。

下段に前号でお知らせした市内診療所の「主な医療機械整備計画」（案）を掲載しました。

市長はこうした指摘に対し、利用者などの声をワークシヨップで聞き、よりよいものにする点や合併特例債等の活用によって実質的な市の負担増は1億2000万円程度であることを強調し、あくまで推進していく姿勢を示しました。

日本共産党議員団は（仮称）厚生産業会館については市民の声を十分聴いていないことなどを指摘し、当初予算の段階から反対してきています。今回の一般質問では平良木議員が、「まさに財政と市民負担に関する姿勢が問われている。（上限額を設定しない）市民ワークシヨップのやり方は万全とは言いがたい。10億6000万円もの増額という大き

な変更の際には、改めて市民にその是非を問うべきだ」と主張しましたが、市長は譲りませんでした。



建設企業常任委員会資料より

## 市内各診療所 主な医療機械の整備計画（案）（価格の単位：千円）

主な医療機械	参考価格	整備総数	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
電子カルテシステム	4,000	4台	牧（歯科）		吉川 清里 大島		
レセプトコンピュータ	3,000（歯科1,700）	4台			吉川 清里 大島 牧（歯科）		
レントゲン撮影装置	6,500（歯科2,500）	6台	清里	牧（歯科） 清里歯科	くろかわ	大島	安塚
X線撮影画像読取装置	4,500（歯科7,500）	5台	大島、牧（歯科）、清里	安塚			くろかわ
超音波診断装置	6,000	2台					大島 吉川
心電計	2,000	2台				牧（歯科） 安塚	
内視鏡システム	12,000	3台	安塚			清里	
自動分包機	1,500	2台		吉川	安塚		
歯科診療用ユニット	3,800	3台	清里歯科	牧（歯科）			牧（歯科）
各年度毎の合計金額			39,800	18,800	30,700	22,500	26,800



【ツリフネソウ】ツリフネソウ科の一年草。漢字で「釣船草」と書きます。いま、沢沿いの湿った土地に紫色の花を咲かせています。大きく開いた花の奥には蜜があります。かんでみると甘みがありますよ。花言葉は「安楽」「私に触れないで」ですって。

# はしづめ法一の活動レポート

No.1676 2014.9.28

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628 吉川有線 4867

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第三二四回

### 牛舎解体

八月一日午後三時五十分、わが家の牛舎がドスンと倒されました。大地が響き、牛が倒れたような音にびっくりして、私はすぐ隣にある管理舎から飛び出しました。見ると、屋根だけが残り、その下の部分は完全につぶされてしまいました。

牛舎の解体工事は七月二十九日から始まっています。ワラ等が入った二階建て部分から取り壊しが始まり、わずか四日目でも牛たちがいた平屋の部分へと進んでいました。「これから徐々に壊され、あと数日で終わるのかな」くらいにしか思っていないんですけど、正直言つてドスンといった場面があるとは思ってもよらないことでした。

ペしゃんこになった牛舎を見た瞬間、脳裏に浮かんだのは屠場で倒れた牛の姿でした。涙こそ流れなかったものの、牛たちに申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。それともうひとつ、亡くなった父にも申し訳ないと思えました。わが家の牛飼いの歴史は祖父、音治郎以来続いてきましたが、その中心にいたのは出稼ぎをやめて乳牛を飼いはじめた父だったからです。

わが家の牛舎は一九八二年（昭和五七）七月に新築した建物で、三二年たっています。牛飼いをやめてからすでに五年以上たっています。土台がシロアリにやられ、ガタガタになっていました。思い出がたくさんつまった建物でしたが、このまま放置しておけないなと思ひ、今春、解体を決断しました。

新しい牛舎を建てる時、父はその設計も財政計画もほとんど私に任せてくれました。牛舎は頸城区の、ある酪農家の牛舎をモデルにしました。お金は源農協（当時）の常山さんや普及所の職員さんの助言をもらいながら、農業近代化資金を使いました。貸し付けが実行される日、仕事を請け負ってくださったKさんとともに藤巻にある金融機関まで出かけ、千数百万円からの現金を風呂敷に包んで運びました。百万円の束を風呂敷で運んだのは私の人生ではもちろん初めて、たった一度の経験となりました。ドキドキしながらもKさんの家についたときはホッとして、当時は健在だったおばあちゃんに「はい、おかあさん、お小遣い」と冗談で札束をひとつ渡す余裕が生まれていました。当時、私は三二歳、牛飼いをするようになつてからまだ一〇年たつていませんでした。

牛舎にまつわる思い出はこれまでも「春よ来い」にいくつも書いてきましたが、次から次へと出てきます。

新しい牛舎を建てた年から三年ほど大雪が続きました。餌は越冬用として確保しておいたので心配しませんでした。問題は毎日出荷する牛乳です。牛舎から県酪連の集乳車を通る道まで出さなければなりません。出荷できないかも知れないと思つた日が何回もありました。二月の吹雪いてどうにもならなかったある日、今度こそは駄目だなと覚悟した時、手伝いにやってきてくれたのは近くに住む太田さんや中島さんなど大勢の牛飼いの仲間たちでした。おかげ様でこの日も何とか捨てずに済みました。

牛舎について一番の思い出はやはり九年前の六月下旬の豪雨災害のことです。増水した吉川の流れは牛舎を襲い、牛舎の中はゴミと濁流でいっぱいになりました。牛たちが寝起きしている場所も水位がどんどん上がっていき、牛たちは頸城区中島の荻谷さんの牛舎に避難させてもらいました。そして水が引いてからは、大勢の仲間や友人が泥やゴミなどの片付けのために約一〇日間もボランティア活動してくれました。どれだけ助かったかわかりません。

これまでお世話になつた皆さんに心から感謝します。ありがとうございました。

## 新水族館で新たな展開か

総務常任委員会の2日目の17日、注目したのは新水族館の動きです。私ども議員団のところには、「建設予定地に難点がある、市はそれをクリアできるかどうか」との心配の

声も入っていて、日本共産党の竹島県議を通じて県教育庁にも問い合わせさせてきました。

委員会では日本共産党の上野公悦議員が、「予定地の土地所有の関係などで大きな問題点が残されているのではないかと質問しました。これに対して坂井新水族博物館整備室長は、「12月議会でも関係者のみなさんから整備について協力していただけることを確認していると報告してきました。これまでも（土地の）関係者全員から（事業の進め方についても）ご理解いただいている

る。ただ、地権者や現在の利用者との事前調整が必要ということで基本計画に明記している」と答えました。また、川上企画政策部長も「土地の利用者、組合の方からもご理解をいただき、学校からも理解していただいている。担当は県に出向き県（教育庁）の理解もいただいている。善光寺組合（土地の利用組合）のことは重要な個人情報でもあり、私どもの方からは申し上げられない。地域のみなさんの協力も必要なので町内会、地域協議会などと協議してきた。そのなかで、グラウンドが高台に移転すると、南側のみなさんが砂ぼこりを心配されるなどいろんな問題が出てきている。現在、全体のこと、レイアウトを含めて、指定管理者や設計者の意見も聞きながら総合的に検討している」と答弁しました。

細かいところまで議論が行かなかったもので、断定できませんが、部長の答弁はいくつかの問題が浮上していることを示唆する内容となっています。今後、新たな展開が起きるかもしれません。（23日）（写真はヤマボウシの実。吉川区にて撮影）

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だとのこと。

	9月17日(水)	9月24日(水)
上越南消防署	0.036	0.033
上越北消防署	0.043	0.047
新井消防署	0.050	0.043
頸南消防署	0.056	0.057
頸北消防署	0.047	0.047
東頸消防署	0.060	0.056
高士分遣所	0.043	0.050
名立分遣所	0.046	0.050

